

シリーズ 95 ふるさと 笠間に生きる人たち

かさま市民力

このコーナーでは、市民の皆さんが自らの活動で地域貢献している団体などを紹介します。掲載を希望する団体は市民活動課へご連絡ください。



会員のみなさん



代表者(大内省二さん)より

かさまハートサポーター(KHS)は、民間の救急ボランティア団体です。

街の中で突然倒れている人を見つけたら私たちはどう対処すれば良いのでしょうか？119番通報から現場に救急車が到着するまで、その場に居合わせた人(バイスタンダー)が適切な応急手当をして救急隊に引き継ぐことができれば、傷病者の社会復帰の可能性は大幅に高まると言われています。そのようなことから、バイスタンダーによる応急手当の重要性が高くなっており、KHSでは心肺蘇生法やAEDの使用方法などの普及活動を行っています。

応急手当をすることが当たり前、お互いを助け合うという思いやりに溢れた笠間市を目標に研鑽に励みたいと思っております。

みんなの力で 市民の命の輪をつなげよう

KHSは、笠間市民の救命率の向上を目的として、地域の人々に対して、応急手当の普及啓発活動や笠間市内で開催する各種イベント等の応急手当部門での支援活動を行う民間救急ボランティア団体です。

KHSは平成22年に発足し、現在83名のボランティア員が活躍しています。KHSは、かさま(KASAMA)のK、心臓(HEART)のH、サポーター(SUPPORTER)のSの頭文字をとってKHSの愛称で呼ばれており、KHSに登録するには、3日間の応急手当普及員講習を終了し、応急手当普及員としての認定が必要となります。

また、KHSに登録後も質の高い指導を行えるよう、会員の自主トレーニングや研修を行っています。

自分の大切な家族、友人、そして隣人の命を守り救うために、そして見知らぬ市民同士がお互いに命を慈しみ合う安心で安全な笠間市を作るために、これからも会員一丸となって活動していきたいと思っております。

かさま ■ ハートサポーター ■ (KHS)

代表者／おうち しょうじ大内 省二 (大田町)
設立／平成22年
会 員／83人



普通救命講習会(指導の様子)



グルメサミット 応急救護所



出初式での救急法指導



研修会の様子